

## 「令和3年度エネルギー使用合理化シンポジウム」を開催しました

関東経済産業局 資源エネルギー環境部 省エネルギー対策課

令和4年2月18日（金）から令和4年3月17日（木）の28日間にわたり「令和3年度エネルギー使用合理化シンポジウム」を開催しました。

本シンポジウムは、エネルギー管理に携わる方を対象に、我が国における今後のエネルギー政策の方向性、省エネ施策の新たな視点、工場・事業場における先進的・汎用的な省エネ取組事例等の情報を幅広く提供し、更なる省エネルギーの推進を目的としています。

本シンポジウムは平成18年度から毎年開催しており、平成28年度からは、関東電気使用合理化委員会も共催しています。

今年度も、新型コロナウイルス感染症等感染拡大防止の観点から、会場を使用した開催ではなく配信期間を限定したオンライン形式にて開催しました。プログラムを4部構成とし、第1部では、「省エネルギー政策の動向について」と題して、関東経済産業局省エネルギー対策課長より、カーボンニュートラル実現に向けた省エネ対策の位置付けや今後のエネルギー施策の方向性について説明しました。第2部の基調講演では、産業技術総合研究所ゼロエミッション研究戦略部総括企画主幹 田中加奈子氏より、「カーボンニュートラルが起こす省エネパラダイム転換」というテーマでご講演いただきました。第3部は、具体的な省エネ取組事例として「工場編」・「事業場編」それぞれ3事例ずつ計6事例の発表をいただきました。第4部は、株式会社環境エネルギー総合研究所より、「5分で分かる省エネセミナー」として4グループ各3カリキュラムずつ計12カリキュラムの発表をいただきました。

昨年度は配信期間11日間で2,398名の方に視聴登録いただきましたが、本年度は配信期間28日間で3,094名の方に視聴登録いただきました。また、多数の方からアンケート回答にもご協力いただきました。ご回答いただいたアンケートからは「1ヶ月の配信期間は、余裕を持って視聴でき非常にありがたかった。」「事例数も多く参考になった。」「聞き直しや見直しができるので、今後もWebで実施してほしい。」「まだまだ知見が足りないためこのような企画を今後ともお願いしたい。」といった声が寄せられました。

### <プログラム>

#### 第1部 施策説明

省エネルギー政策の動向について

経済産業省 関東経済産業局 省エネルギー対策課長 忍田 千鶴子

エネルギー消費の動向、現行の省エネルギー政策の概要、省エネ法改正の方向性、省エネ支援施策について説明しました。

#### 第2部 基調講演

カーボンニュートラルが起こす省エネパラダイム転換

産業技術総合研究所 ゼロエミッション研究戦略部 総括企画主幹 田中 加奈子 氏

何故いま、カーボンニュートラルなのか、カーボンニュートラルの背景、それぞれ影響しあう気候変化をとりまく関係を始め、温暖化対策としての省エネルギー、小資源国日本の省エネへの期待、日本の産業の努力、そして求められるカーボンニュートラルへの対応、新しい変化、これからの省エネについて基調講演をいただきました。

### 第3部① 事例発表【工場編】

(事例発表1) サステイナブルな事業経営を目指して“設備投資の徹底戦略”で短投資回収年の省エネ実現  
～空調システム最適化更新で50%エネルギー削減～

三井金属鉱業株式会社

(事例発表2) 今日から始める脱炭素～CO<sub>2</sub>排出量50%削減を目指して～

来ハトメ工業株式会社

(事例発表3) スペシャリストからゼネラリストへ～社内人財資源を生かした攻めの省エネ戦略～

リコークリエイティブサービス株式会社

### 第3部② 事例発表【事業場編】

(事例発表1) エネルギーの見える化・見せる化から始める省エネルギー  
～2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す新たなステージへ～

アズビル株式会社

(事例発表2) 老人福祉施設における運用改善による省エネ実践

社会福祉法人白百合会 特別養護老人ホーム 恩方ホーム/ダイキン工業株式会社

(事例発表3) コープ共済プラザにおけるカーボンニュートラルの取り組み

株式会社日建設計

### 第4部 5分で分かる省エネセミナー【テーマ別省エネセミナーカリキュラム】

株式会社環境エネルギー総合研究所

グループA 経営と省エネ	・経営層が納得する省エネ提案のポイント
	・経営層が納得する省エネ企画書の作り方
	・脱炭素経営の進め方

グループB データで読み解く省エネ	・データのとりせつ（基礎編）
	・データのとりせつ（加工編）
	・データのとりせつ（分析編）

グループC 見える化で進める省エネ	・適切な原単位の管理とは
	・その原単位、省エネ成果が見えますか？（工場編）
	・その原単位、省エネ成果が見えますか？（事業場編）

グループD 基礎から学ぶ省エネ	・使える管理標準の作り方
	・C（チェック）から始める省エネ対策
	・5分で分かるカーボンニュートラル

関東経済産業局省エネルギー対策課では、今後も、省エネ法の動向、施策や取組事例等の情報提供をさらに充実させ、皆様の省エネの取組を応援して参ります。

#### <開催概要>

日時：令和4年2月18日（金）～令和3年3月17日（木）28日間

実施形式：オンライン形式による動画配信（各コンテンツ完全収録）

最終登録者数：3,094名

共催：関東地区電気使用合理化委員会

シンポジウムチラシ（各種プログラムはチラシ作成時点のものとなります）



視聴無料  
YouTube  
にて配信

# 令和3年度 エネルギー使用合理化 シンポジウム

〔さらなる省エネと+αの取組みで一步リード！〕  
カーボンニュートラルに向けた省エネ戦略

主催：経済産業省 関東経済産業局 共催：関東地区電気使用合理化委員会

政府は温室効果ガスの排出を2050年までに実質ゼロ、いわゆる「カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を目指すことを宣言しました。国内外でカーボンニュートラルに向けた動きが加速する中、カーボンニュートラルの実現に向けては「徹底した省エネルギー」が不可欠です。

本シンポジウムでは、省エネルギー政策の方向性や支援策、カーボンニュートラルに関する動向、省エネ+αの具体的取組事例、テーマ別省エネセミナー等を配信します。これにより、省エネ法及びカーボンニュートラルに対する理解を深めていただくとともに、皆さまの、より一層の省エネルギーの推進と、カーボンニュートラルに向けた取組を後押しすることを目的としています。

1

## 施策説明

省エネルギー政策の動向について

経済産業省関東経済産業局  
省エネルギー対策課

2

## 基調講演

カーボンニュートラルが起こす  
省エネパラダイム転換

産業技術総合研究所  
ゼロエミッション研究戦略部  
総括企画主幹 田中 加奈子 氏

### 3

#### 事例発表

工場

「サステナブルな事業経営を目指して"設備投資の徹底戦略"で短投資回収年の省エネ実現」  
～空調システム最適化更新で50%エネルギー削減～

三井金属鉱業株式会社

「今日から始める脱炭素」  
～CO<sub>2</sub>排出量50%削減を目指して～

来ハトメ工業株式会社

「スペシャリストからゼネラリストへ」  
～社内人財資源を生かした攻めの省エネ戦略～

リコーククリエイティブサービス株式会社

事業場

「エネルギーの見える化・見せる化から始める省エネルギー」  
～2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す新たなステージへ～

アズビル株式会社

「老人福祉施設における運用改善による省エネ実践」

社会福祉法人白百合会  
特別養護老人ホーム 恩方ホーム/  
ダイキン工業株式会社

「コープ共済プラザにおけるカーボンニュートラルの取り組み」

株式会社日建設計

### 4

#### 5分で分かる省エネセミナー

「テーマ別省エネセミナーカリキュラム」

忙しい方のための、5分で分かる省エネセミナー  
4つの異なる視点から省エネをとらえた実践的なセミナーです。

株式会社環境エネルギー総合研究所  
所長 大庭 みゆき

<b>GROUP A</b> 経営と省エネ	経営層が納得する省エネ対策のフロー	経営層が納得する省エネ提案企画書の作り方	脱炭素経営の進め方
<b>GROUP B</b> データで読み解く省エネ	データのとりせつ(基礎編)	データのとりせつ(加工編)	データのとりせつ(分析編)
<b>GROUP C</b> 見える化で進める省エネ	原単位、上手に使う見える化しよう(工場編)	原単位、上手に使う見える化しよう(事業所編)	高品質or高付加価値or高エネルギー消費になったら換算生産量の出番です
<b>GROUP D</b> 基礎から学ぶ省エネ	使える管理標準の作り方	C(チェック)から始める省エネ対策	5分で分かるカーボンニュートラル

#### 参加お申込み

サイトの参加申込みフォームから必要事項をご記入の上、3月15日(火)までにお申込み下さい。

参加申込み受付後、運営事務局より申込み手続完了のお知らせ及び動画視聴のパスワード等の必要な事項について記載したメールを送付いたします。

※各種プログラムは現時点の予定であり、一部プログラムの変更の可能性がございます。最新の情報はホームページをご参照ください。

主催 経済産業省 関東経済産業局

共催 関東地区電気使用合理化委員会

協力 一般財団法人 省エネルギーセンター

お問合せ先(運営事務局):株式会社環境エネルギー総合研究所 担当:片山・大庭

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビル TEL/03-3543-3430 FAX/03-3543-3431 E-mail/info@eer.co.jp